



ひまわり通信

さあ 新しい政治へ 自・公政治をチェンジ

野党が求めていた国会、予算委員会も開かず、14日に解散、19日公示31日投票という選挙日程が発表されました。これでは与党は議論や説明を避けていると言われてもしかたありません。

先日、地域の環境整備で旧水後小学校まで県道沿いのゴミ拾いに参加しましたが、道路脇の草や木が伸び、側溝は枯葉や泥で埋まって水が流れない状態です。以前草刈りは年に2〜3回されていたような気がします。少子高齢化で地域力も落ちており公の力が必要で、何度も要望していますが予算がないと言われま

生活への影響が消費税とともに大きくなっています。コロナから身を守る為にも、生活を守る為にもチェンジです。

9月議会が29日終了

8項目の報告、34項目の議案、5項目の陳情・要望が審議されました。

28日の一般会計補正予算に対し谷口議員より「かんぼの郷施設取得事業になぜ賛成できないのか基本的な考えを述べておきたいと思います。施設を残していきたいとの思いは、多くの市民や私も含めた全議員の共通の認識だということ。ただ、市が直ちに取得するのではなく、日本郵政と正面から交渉しながら、民間活力の導入など、他の方法を模索すべきであったこと。そもそもかんぼの郷庄原は営利を目的にするリゾートホテルではなく、健康増進と福祉の充実、健康でゆとりある地域社会づくりに貢献するというオープン当初の原点に立ち返

り、本来なら日本郵政が責任をもって運営すべきであること」等を理由に反対討論を行いました。採決で2人反対(藤木、谷口)1人保留15人賛成で通過しました。

29日には令和2年度庄原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定、介護保険特別会計歳入歳出決算認定に対し、谷口議員が「国保事業も介護事業もきめ細かく取り組んでおられるすべての職員・関係者の皆さんに敬意を表しつつ、制度上の問題点を指摘して、市民生活が良くなるようにとの思いからの反対討論です。国民健康保険は全県一本化が完全に2024年に行われ、対応と利益割が逆転し資産のない低所得者層には厳しい制度設計です。能力に依じて負担する所得割を増やすべきと考えます。市民は歯を食いしばって協会けんぽの倍の保険税を払っています。少子化対策に逆行する“子どもの均等割”

の廃止などできるはずですが、介護保険料は月平均562円9.1%の引き上げを行いました。年金が下がるなかで、市民の負担はギリギリです。県下でも高い保険料です。国

が財政負担を減らしてきたことが最大の問題です。庄原市としてできる範囲の知恵をだして、子どもからお年寄りまで住みやすい街になるようさらなる努力を求めたい」と反対討論を行い、反対2人(藤木、谷口)賛成16人で通過しました。

米価大暴落

実りの秋、新米が楽しみな季節が、喜べない事態となっています。米余り状態で米価の大暴落が起きています。「コメつくって、飯食えねー」状態です。安心して米作りが続けられるようここでも政治のチェンジが叫ばれます。



どんなことでも
お気軽に相談ください
ふじき百合子
080-1906-4673

